

# 「福島ファン」の 増加実現へ

～現地学習による興味・関心の育成～

京都市立西京高等学校2年  
堤 咲稀

# 1.今までの活動



## 長崎県西海市の市役所訪問

### <学び>

- ・ゼロカーボンシティ実現に向けた取り組み
- ・再エネの可能性

## VENA ENERGY 台湾研修

### <学び>

- ・台湾のエネルギー問題
- ・日本と台湾の違い、取り入れるべき良さ

## 4度にわたる福島県訪問＆探究活動

### <学び>

- ・福島県の現状、復興の課題
- ・「自分の目で確かめる大切さ」

## 2.活動を通してわかったこと

現地学習に参加している学生はもともとエネルギー・災害への興味・関心がある人ばかり

エネルギー・災害に興味がない  
↓  
何も行動を起こさない  
↓  
誤った情報や先入観を信じる

負のサイクル



エネルギー・災害について知りたい  
↓  
積極的にツアーなどを探す  
↓  
現地学習に参加  
↓  
興味・関心がさらに向上

興味・関心が**低い**

← 興味・関心の壁 →

興味・関心が**高い**

# 3. 現地学習の効果

脱負のサイクル！



＜効果①＞

**自然と興味・関心が高まる**

- ↳ 目で見て、肌で感じて、声に出して学びを深められる
- ↳ 今までの**先入観**と**現地のギャップ**に心を打たれる

＜効果②＞

**最高の仲間と出会える**

- ↳ 一緒に課題解決の方法を考えたり、議論したりすることで**刺激**を受ける
- ↳ 必要な知識や情報を積極的に集めるようになる

＜効果③＞

**自分事として物事をとらえられるようになる**

- ↳ 実際に現地に訪れることで、**親近感**がわく
- ↳ 地元の人との交流を通して、**他人事ではない**と気づく

# 4. 福島県に実際に訪れてみて



地元の人の温かさ・優しさ



震災の傷跡・復興の難しさ



伝統品の継承



最先端技術の活用



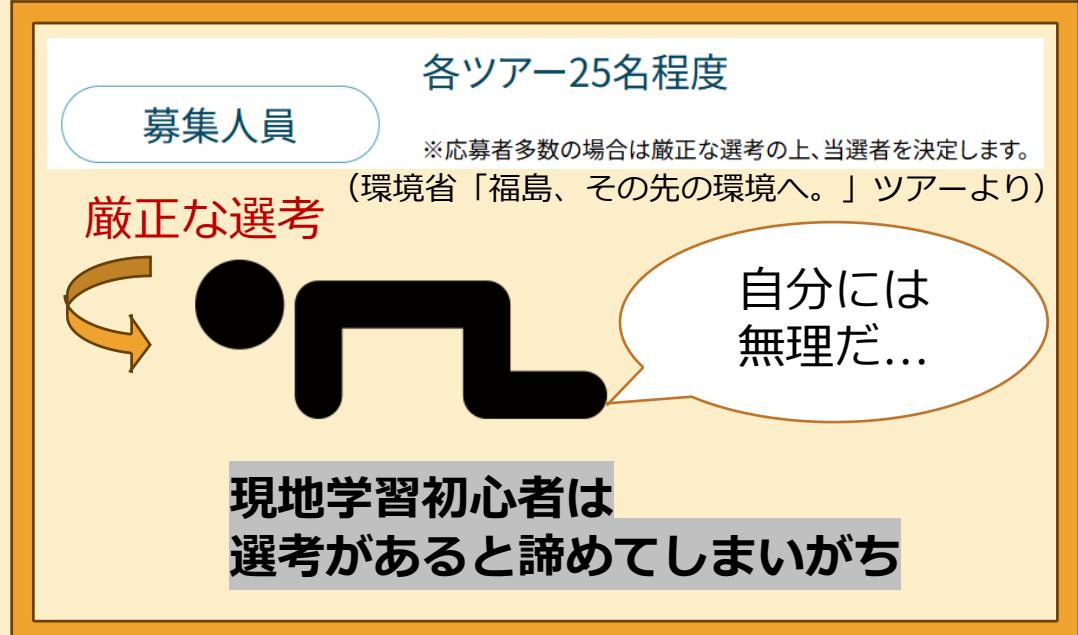
エネルギーや災害への興味が低い人  
ほど福島県に訪れ、刺激を受けてほしい

## <現在の課題>

- ・ツアーの存在を認知している人が限られている
- ・現地学習は興味・関心のある人だけが行う活動で、ハードルが高いと思われている

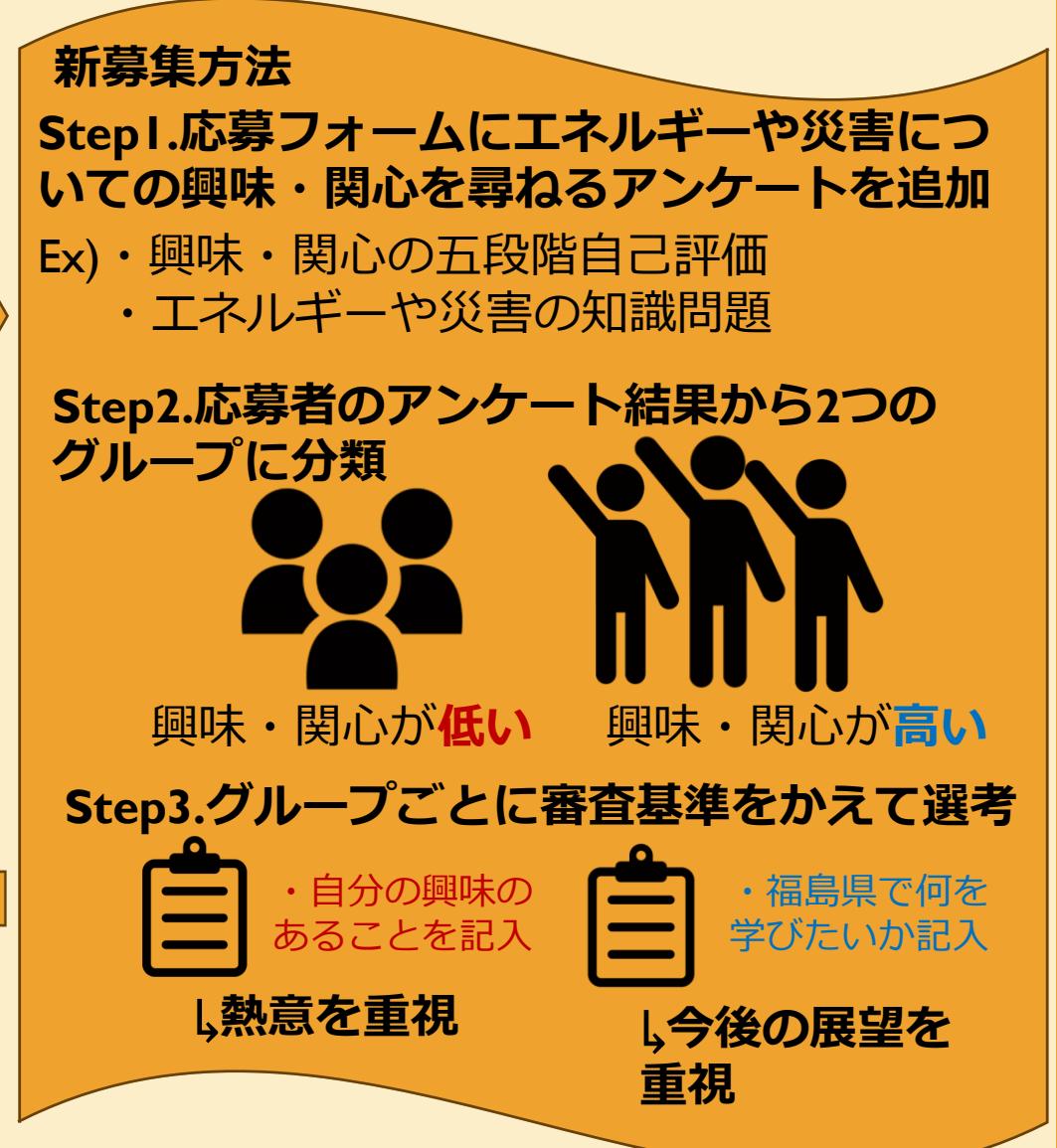
どうすれば興味・関心の低い人も  
現地学習に挑戦できる環境をつくれる？

# 5.福島ツアーの改定案①



～良さ～

- ・自分とは違うことに興味を持つ人と交流することで、**視野が広がる**
- ・エネルギーや災害への興味・関心が低い人が応募しやすくなる  
↳ **福島県の課題について考える人が増加**



# 6.福島ツアーの改定案②

友達に「福島県で開催されているツアーに行ってきた」と伝えると...  
・旅行じゃなくて学習が目的のツアーやつたら大変そう。

・行程表見たら自由時間ほぼないやん！！  
お疲れ様。

「楽しそう」と言ってもらえなかつた

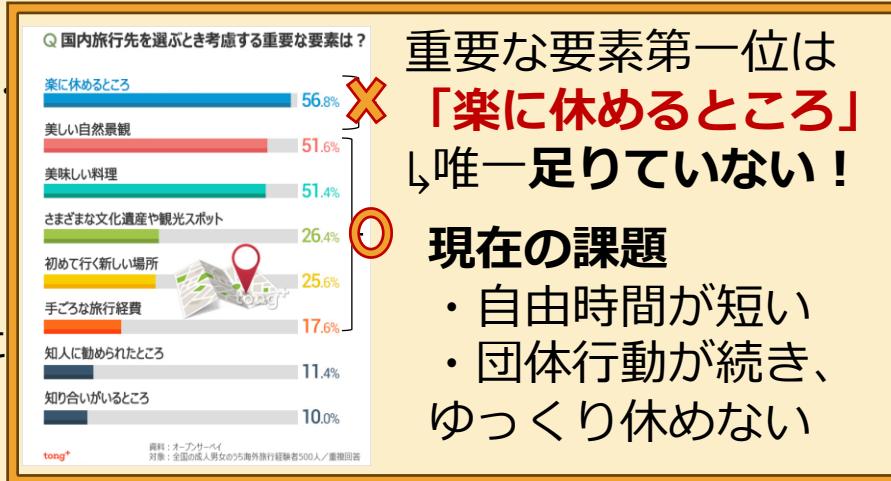
「友達（エネルギーや災害に興味がない子）にも行きたい！と思つてもらえるツアー」とは？

・ 今の私にできること

①福島県で学んだことをできるだけ多くの人に伝える

・積極的にプレゼン大会や地域の探求発表イベントに参加

②友達と一緒に福島ツアーに申し込む  
・身近なところから「福島ファン」を増やす



重要な要素第一位は  
**「楽に休めるところ」**  
↳唯一足りていない！

## 現在の課題

- ・自由時間が短い
- ・団体行動が続き、ゆっくり休めない

[https://life.chosunonline.com/site/data/html/\\_dir/2019/02/21/2019022180107.html](https://life.chosunonline.com/site/data/html/_dir/2019/02/21/2019022180107.html)



すべての魅力が詰まったツアーへ

## 案1.ツアー中に 「ぶらり旅時間」を設置

- ・集合時間に間に合うならどこへ行ってもOK
- ↳現地の食事や景観を自分好みに楽しめる

## 案2.前泊・後泊の推進

- ・ツアーのホームページに福島県の魅力的な観光スポットやモデルプランを掲載
- ↳ゆったりと福島県を楽しんでもらえる

## 案3.少人数ツアーの実施

- ・4～10人程度の人数でツアーを行う
- ↳参加者同士が仲良くなりやすい

# 7.福島県の未来



福島県に4度訪れ、気づいたこと。

## 「私は福島県が大好きだ！」



たくさんの魅力が詰まった福島県 →一度訪れるだけで「もう一度行きたい！」と思える

**福島ファンの増加が福島県の未来を変える！**